

【龍岡】

ちから いし き じ 力石・木地

82 力石の檜原山登山口

檜原山には多くの登山道がある。登山道ではなく奈良原神社へお参りする参道と言った方がいいかもしれない。

- 1、奥道後から水ヶ峠を越え木洩れ日の橋を渡り登る道。
- 2、鈍川中通から仏ヶ峠、下木地から登る(昔は鈍川温泉からの車道はなかった)。
- 3、神子之森から千足峠、上木地から四国のみちを登る。
- 4、龍岡中村から、あるいは鈍川大下から丸山を経由
- 5、重信からも、黒谷からも道があった。
- 6、そしてこの力石からの道。国道317号線の水ヶ峠トンネルに向かって走り、力石に入ると左手に下りる。蒼社川を渡る立派な橋が架かっている。その先に大きな鳥居がある。年号は天保6年とある。奈良原神社参道と言っている。ただ現在道は荒れているらしい。



83 白椿と黄金

力石に伝わるお話。

正直で働き者の太郎兵衛さんが、神様のお告げで茶せん松の白椿の根元で黄金を掘り当てた。神様からは三代後に使うべしと言われたが、息子の代になり、神様の言い伝えを守らなかつたためその黄金を失うことになる。

このお話も紙芝居にして伝えられている。



84 嵯峨子城跡



龍岡上地区には中通城・法木谷城・藤古城・須賀城・嵯峨子城の5つの古城跡がある。戦国時代の正岡氏の城とされ、自然の要害につくられていた。嵯峨子城跡は北三方ヶ森の林道を2kmほど登ったところにある。現在は多くのしだれ桜やソメイヨシノが植えられており、桜の名所となっている。

